

平成21年度 国土・景観形成事業推進調整費（事業推進の部）の概要

国土・景観形成事業推進調整費(事業推進の部)は、国土形成計画に基づく事業、地域自立・活性化交付金を活用して実施する事業の根拠となる広域的地域活性化基盤整備計画の目標の達成に資する事業及び良好な景観形成に資する事業等を推進することにより、地域の自立・活性化を促し、美しく、暮らしやすい国土の形成を推進することを目的に使用するものです。

平成21年度の国土・景観形成事業推進調整費（事業推進の部）について、
中部地方整備局管内においては、

約20億4千万円（直轄13億2千万円、補助7億2千万円）

の事業を実施いたします。

国土・景観形成事業推進調整費（事業推進の部）

（単位：百万円）

区分	直轄・補助	事業名	事業箇所	事業費
道路	直轄	一般国道1号笹原山中バイパス <small>ささはらやまなか</small>	静岡県三島市	130
	直轄	一般国道260号錦峠 <small>にしきとうげ</small>	三重県度会郡南伊勢町 <small>わたらいぐん</small>	250
	直轄	一般国道1号東駿河湾環状道路 <small>ひがしするがわん</small>	静岡県三島市	640
	直轄	一般国道1号磐田バイパス	静岡県磐田市	100
	直轄	一般国道23号中勢道路5工区鈴鹿工区 <small>ちゅうせい</small>	三重県鈴鹿市	200
河川	補助	太田川水系太田川	静岡県磐田市	320
	補助	瀬戸川水系石脇川 <small>いしわきがわ</small>	静岡県焼津市	100
	補助	瀬戸川水系朝比奈川	静岡県藤枝市	200
	補助	萩間川水系萩間川 <small>はぎまがわ はぎまがわ</small>	静岡県牧之原市	100
合計				2,040

参考1) 今回、国土・景観形成事業推進調整費（事業推進の部、事業調整の部）として、全国で37件、総事業費約90億円（中部地方整備局関連の9件を含む）が実施されます。

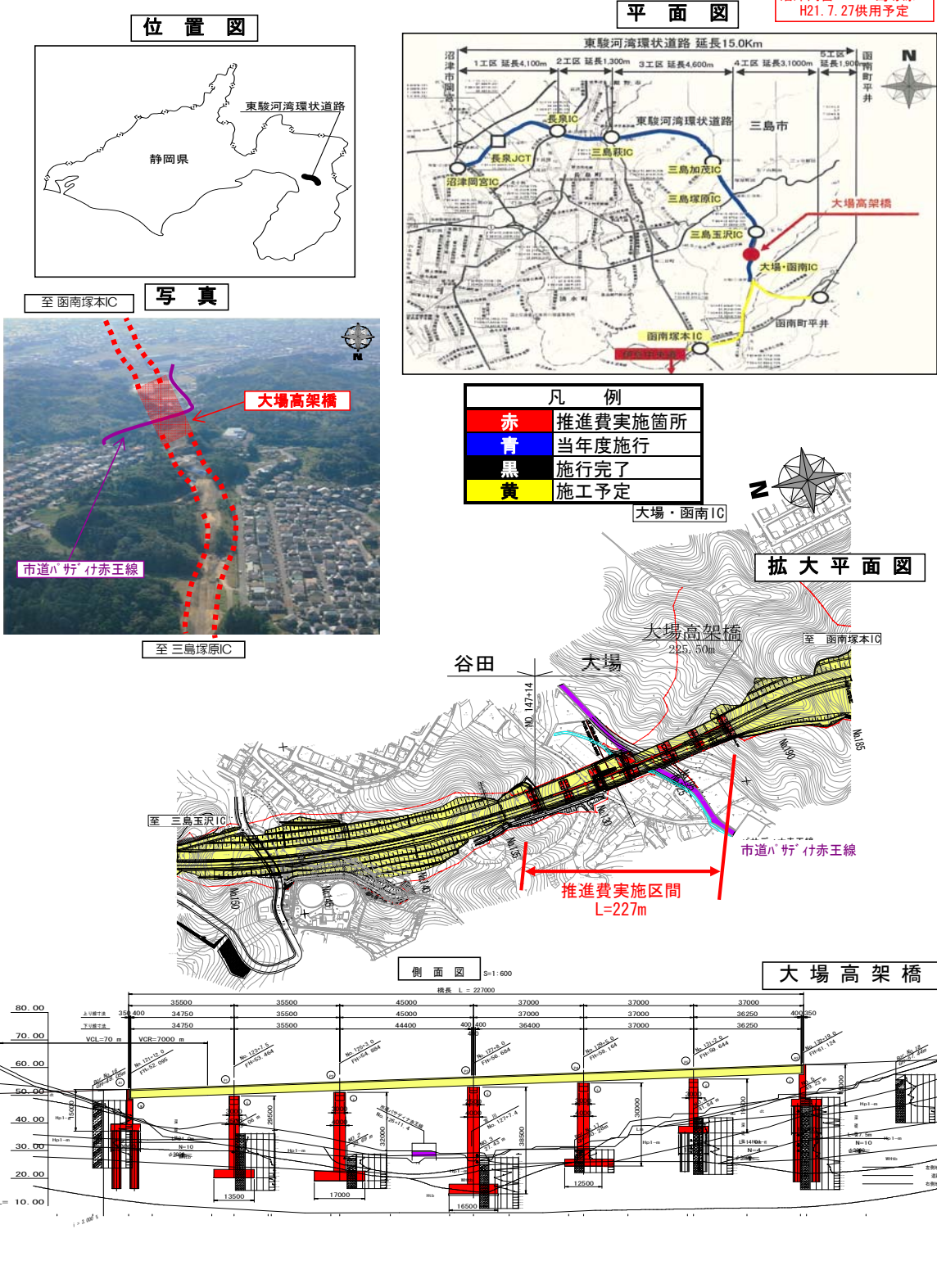
参考2) 国土・景観形成事業推進調整費は、年度途中に必要なに応じた機動的な予算措置できる制度です。

【事例①】国土・景観形成事業推進調整費(事業推進の部)

【直轄】

事業名	一般国道1号 <small>ひがしするがわんかんじょう</small> 東駿河湾環状道路
施工地	<small>しずおか みしま だいば</small> 静岡県三島市大場地先
内容	沼津・三島都市圏の環状道路として、交通の分散導入を図り、市街地内の交通混雑の緩和を目的に高規格幹線道路の整備を進めているところである。今回推進費の投入し、下部工工事を促進することにより、事業促進が図られる。

【概要図】

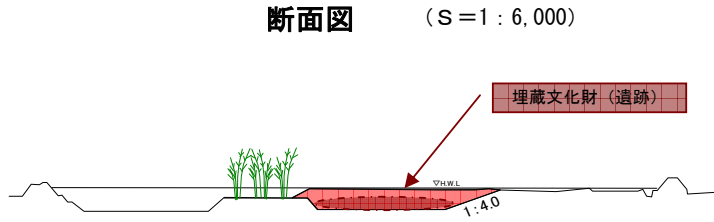


【事例②】国土・景観形成事業調整費(事業推進の部)

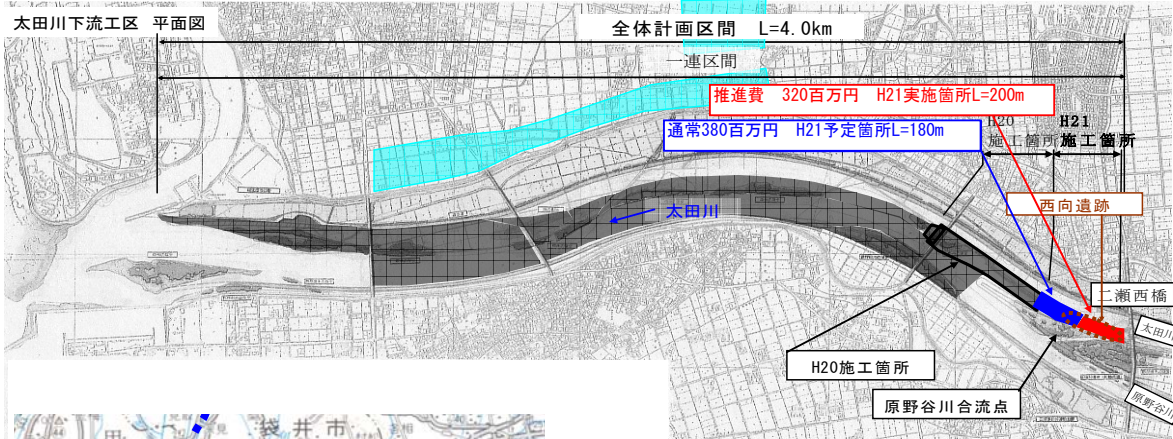
【補助】

広域地方計画区域において実施される全国計画に基づいて実施される事業

事業名	河川改修事業(太田川水系太田川)
施行地	しずおかけん いわたし とよはまちさき 静岡県 磐田市 豊浜地先
事業費	320百万円(国費:160百万円)
内容	太田川水系太田川の治水対策のため、太田川ダム建設事業と併せて、河道掘削による河川改修事業を推進しているところである。河道掘削予定箇所(遺跡)が広範囲に存在することが判明したため工事を見合わせていたが、試掘の結果、遺構深さが想定よりも浅いことが確認でき、遺跡調査工程の短縮が図られる見通しとなったため、県教育委員会の了解を得て調整費での要求が可能となった。 調整費投入による計画的な河道掘削の推進と、太田川ダムの平成21年度竣工により、平成21年度末に治水安全度1/10の確保が可能となる。



平面図 (S=1:25,000)



凡 例	
赤	推進費実施箇所
青	当年度施行
黒	施行完了
黄	施工予定

河道掘削(河口から二瀬西橋区間)と、太田川ダム(H21竣工)の運用により、平成10年9月洪水(1/10確率洪水)に対応した浸水被害の解消が可能となる。

事業効果

